

(別紙5)

整理番号 2017P-048  
補助事業名 平成29年度 国際交流の推進活動 補助事業  
補助事業者名 公益社団法人アジア協会アジア友の会

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

有効な資源を再生し、必要としている人々に贈ることにより、循環型経済社会に向けて人と地球環境に優しい自転車の活用促進を図る一方、同じ目的をもって国境を越えた協力体制・信頼関係を構築する中で国際交流の推進を図り、地域社会・国際社会で活躍、貢献できる人材を育成し、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

<http://jafs.or.jp/action/cycle-aid/>

大阪府内の6ヶ所から回収した自転車を修理・再生し、自転車を必要としているアジア地域へ12月に350台の自転車を、またカンボジアに284台、合計634台の自転車を贈った。また、この補助事業を様々な団体やイベントと連携して広報し、国際交流プログラムを通じて今後地域社会や国際社会で活躍、貢献できる人材育成への取り組みを行った。



自転車寄贈されたタイ伝統医学を学ぶ学生達



JKAマークの表示  
カンボジア



補助事業について説明  
タイ



自転車贈呈式典  
カンボジア

## 2 予想される事業実施効果

贈られた自転車を地域の共有財産とし有効に活用することで、それまで不可能だった通学や仕事の効率化、生活の改善を可能にし、受益者達が自立への第一歩を踏み出し、将来をより良いものにかえていくことができるようになった。そのことが地域社会福祉環境の底上げとなり、地域住民が互いに協力しながら地域社会を創造していくことにつながっている。地域共同体の結束が強まり、他の問題解決に対する協力体制もより強固になってきている。さらに地球環境保全への意識を高めることで、国境を越えて同じ地球市民としての視点を持ち、互いに協力しあう国際交流の推進活動を拡げていくことが期待される。自転車を通じて、日本と各国の国際交流が活発になり、人と人の絆が深まることによって、草の根の理解と協力の輪の広がりが期待される。



事業推進のために結成された  
タイ委員会メンバー



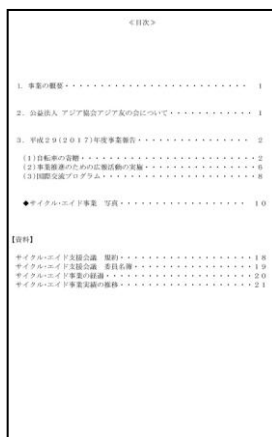
安全な自転車利用のために  
活躍する大学のメンバー

## 3 補助事業に係わる成果物

### (1) 補助事業により作成したもの

#### 平成29年度事業報告書

<https://drive.google.com/file/d/1iSFtzFI-tcDXL5vTWIbw3yVB5C3ovEAZ/view>



アジアネット135号 (今秋完成)

(別紙5)

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人アジア協会アジア友の会  
          (コウエキシャダンハウジンアジアキョウカイアジアトモノカイ)  
住      所： 〒550-0002  
              大阪市西区江戸堀1丁目2番14号  
代 表 者： 会長 萩尾 千里 (ハギオ センリ)  
担 当 部 署： 総務 (ソウム)  
担 当 者 名： 業務主任 岡本佳子 (オカモト ヨシコ)  
電 話 番 号： 06-6444-0587  
F A X： 06-6444-0581  
E - m a i l： [asia@jafs.or.jp](mailto:asia@jafs.or.jp)  
U R L： <http://jafs.or.jp/>